

平成 30 年度事業報告書

平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

1. 第 28 回日米草の根交流サミット大会の開催 <定款上の該当条項:第4条>

開催地 : シアトル及びワシントン州内 14 地域

開催時期 : 平成 30 年 9 月 18 日(火)～9 月 25 日(火) (6 泊 8 日)

参加者数 : 日本からの参加者 : 159 名 (他にオープニング or クロージングのみの米国人参加者 7 名あり)
大会参加者総数 : 約 1,800 名
(オープニング及びクロージングの式典、歓迎レセプションとフェアウェル・イベント、ホストファミリー、ボランティア、支援者、14 の地域分科会でのプログラム参加者等を含む)

内 容 : 「第 28 回日米草の根交流サミット 2018 シアトル・ワシントン州大会」を 2018 年 9 月 18 日(火)から 9 月 25 日(火)にかけて計 8 日間、ワシントン州シアトル及び周辺 12 市と中学校、高校において開催した。主催は、ワシントン州日米協会、CIE、CIE-US。

●ワシントン州での受け入れ体制

草の根サミット受け入れにあたり、ワシントン州日米協会に全面協力を依頼。大会準備実行委員会が組織され、協会役員、事務局そしてボランティアが一体となって準備を進めてくださった。

加えて、シアトル総領事館の協力も厚く、特に山田総領事にはワシントン州日米協会と共に企業へ寄付協力をご依頼くださるなど、受入れから準備に渡り、多大なご協力をいただいた。

●ウォーキング・ツアー (9 月 18 日)

直行便で午前中に到着した参加者に向けて、ワシントン州日米協会がボランティアによるウォーキング・ツアー 3 コースを提供。参加者たちは到着早々の時間をシアトルの中心街で楽しんだ。

- ①シアトルセンター (スペースニードル)
- ②パイクプレイス・マーケット
- ③ウェストレイクセンター

● ローカル・ツアー（9月19日）

以下の5つのコースを提供。いずれも好評であった。

- ① ボーイング工場ツアー（30名参加）
- ② 「ツインピークス」とワイン&ビールツアー（20名参加）
- ③ シアトル廃墟の地下空間とセーフコ球場（20名参加）
- ④ 日系アメリカ人の歴史とインターナショナル・ディストリクト（53名参加）
- ⑤ シアトルのビジネス（20名参加）

● オープニング式典と歓迎レセプション（9月19日夕刻）

オープニング式典と歓迎レセプションは、シアトル酋長の生誕の地「ブレイク島」へのクルーズ船上及びブレイク島内のティリカム・ヴィレッジで開催。サイラス・ハビブ ワシントン州副知事、シェファリ・サガナンサンシアトル市助役の挨拶後出航。往路、カリン・ザーグ・ブラック ワシントン州日米協会次期会長及びペリー提督子孫のマシュー・ペリー博士のスピーチ、万次郎弁論大会特別賞受賞者2名の発表、TOMODACHI イニシアティブの助成による参加の奈良県畝傍高校生徒たちのプレゼンテーションが披露された。

ブレイク島ティリカム・ヴィレッジでは、ネイティブ・アメリカンの伝統的な食事と共にショーを楽しんだ。

その後、シャロン・トミコ・サントス大会実行委員会共同委員長及びワシントン州議員、島田丈裕駐米日本公使、山田洋一郎シアトル総領事らによる歓迎の挨拶の後、ホイトフィールド船長子孫のスコット・ホイトフィールド氏、万次郎子孫の中濱京氏及び知靖氏が登壇。知靖氏とスコット氏による中濱家とホイトフィールド家の恒例の地球儀交換が行われた。今大会にはホイトフィールド家からはボブ夫妻、スコット氏及び長男ワイアット氏、長女モーガン氏が出席。中濱家からは京氏、文氏、知靖氏が出席した。

最後に主催者側として、河野雅治 CIE 理事長が関係者へのお礼を述べた。式典の終了後、ロングハウス前の広場で総勢300人の出席者の記念撮影を行った。

シアトルへの帰路は黄昏時の夜景と歓談を楽しんだ。

● 地域分科会（9月20日～9月23日）

大会3日目の9月20日(木)からの3泊4日、大会の中心部分である地域分科会が12市と2つの学校に於いて開催された。参加者達は、それぞれの分科会でその地域ならではの数々の文化交流を楽しみ、また全米でも「住みたい街」として人気の地域でのホームステイでは、アメリカ北西部の文化と生活を体験し、それぞれの地域で親睦を深めた。

< 地域分科会 受け入れ市 >

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. シアトル | 2. ヴァンション・アイランド |
| 3. ベルビュー | 4. レントン |
| 5. オーバーン・ケント | 6. タコマ |
| 7. レイクウッド | 8. オリンピア |
| 9. ポート・タウンゼンド | 10. セクイム |
| 11. エレンズバーグ | 12. モーゼスレイク |
| 13. マウントバーノン高校 | |
| 14. タイイー中学校 | |

上記受け入れ地域のうち、マウントバーノン高校は TOMODACHI イニシアティブによる奈良県立畝傍高校からの生徒グループを、タイイー中学校は福島からの葛尾中学校及び川内中学校を受け入れ、特別交流プログラムを組んでもらい、プチ留学体験を提供。

福島からの2校は2016年のアトランタ大会に東京倶楽部助成協力を参加費の一部に充て初めて参加。参加後、日米草の根交流サミットの主旨・理想に賛同し、村議会及び教育委員会により今後の生徒派遣を決定し、村費による参加。

● クロージング式典&フェアウェル・パーティー（9月23日）

3泊4日の地域分科会終了後、9月23日(日)、シアトル郊外のレントンにあるハイアットリージェンシー・レイク・ワシントンの大宴会場でクロージング式典及びフェアウェル・パーティーを開催した。

式典では、ジョン・チェルミニアック ベルビュー市長、コートニー・グレゴワル シアトル港湾局委員長、カリン・ザーグ・ブラック ワシントン州日米協会次期会長が挨拶の後、山田洋一郎シアトル総領事がアメリカ側スタッフ、ホストファミリーやボランティアへの感謝言葉を述べた。

その後、福島県の葛尾中学校と川内中学校生徒による「よさこいソーラン節」の踊りが披露され、会場が大いに盛り上がった。

また、2019年度開催地の兵庫県から片山安孝兵庫県産業労働部長と、兵庫県キャラクターの「はばたん」が登壇。兵庫県の魅力を紹介し、次年度大会への参加をホストファミリーやボランティアに呼び掛けた。

現地の太鼓チームとドラムチームによる演奏が披露されるなか、食事が始まり、参加者とホストファミリーたちは歓談を楽しんだ。

最後にテイ・ヨシタニワシントン州日米協会理事長、デール・ワタナベ ワシントン州日米協会専務理事、カリン・ザーグ・ブラック ワシントン州日米協会次期会長の挨拶に続き、ジェームズ・ケリーCIE-US 理事長の挨拶でも次回大会の参加を呼び掛けた。

● **ポスト・サミット・オプション・プログラム（9月24日～）**

サミット終了後、オプションのプログラムとして、次の3つのプログラムを提供した。

- | | |
|----------------------|-------|
| ① カナダ・バンクーバー（2泊3日） | 12名参加 |
| ② オレゴン州ポートランド（2泊3日） | 7名参加 |
| ③ ボストン&フェアヘイブン（4泊5日） | 11名参加 |

※協力：ボストン日本協会・ホイットフィールド-万次郎友好協会

2. 第29回日米草の根交流サミット2019兵庫・姫路大会開催準備

平成31年度の第29回日米草の根交流サミット2019兵庫・姫路大会開催について、以下のような準備を進めた。

開催地：兵庫県内各地（12分科会予定）

開催時期：2019年6月24日(月)から7月1日(月)

共催団体：兵庫県、姫路市、CIE-US

地域分科会：以下の10市及び2つの学校で、合計12の分科会を開催することとし、準備を進めた。

- － 姫路市
- － 神戸市
- － 西宮市
- － 宝塚市
- － 篠山市
- － 丹波市
- － 淡路市
- － 加東市
- － たつの市
- － 朝来市
- － 兵庫県立宝塚西高等学校
- － 兵庫県立大学附属中学校

開会式典及び歓迎レセプション：6月26日(水) 姫路市主催として下記の通り開催することとした。

開会式典会場：イーグレ姫路館内「あいメッセホール」

歓迎レセプション会場：清交会館

閉会式典及びフェアウェル・パーティー： 6月30日(日) 兵庫県主催として下記の通り開催することとした。

閉会式典会場： 淡路夢舞台国際展示場

フェアウェル・パーティー： ウェスティン淡路宴会場

日本伝統芸能の淡路人形浄瑠璃や淡路踊りの披露の準備を進めた

宿泊ホテル： 最初の2泊は姫路市駅に隣接するホテルモンテレ姫路、最後の一泊は閉会式典を催すウェスティン淡路を予約した。

大会2日目の「オプション・ローカル・ツアー」には、以下の3コースを用意した。

- A. 「姫路城」コース
- B. 「好古園と姫路城三の丸」コース
- C. 「書写山圓教寺」コース

大会終了後のポスト・サミット・オプション・プログラムには下記4プログラムを設定した。

- 1. 京都ホームステイ2泊と東京 ※協力：中山貴恵顧問
- 2. 金沢ホームステイ2泊、能登ホームステイ2泊と東京
※協力：魚岸志乃富顧問
- 3. 京都フリー3泊
- 4. 東京フリー3泊

参加者募集活動：兵庫・姫路大会への参加者募集のため、下記の活動を行った。

- 1. パンフレットの配布(過去参加者、全米日米協会、各関係者)
- 2. アメリカでの説明会
- 3. グリーティングウェブメールによるアメリカ参加者への告知

3. 第30回日米草の根交流サミット2020フィラデルフィア大会開催準備

2020年度の第30回日米草の根交流サミット大会の開催準備を、フィラデルフィア日米協会の協力のもと以下の通り行った。

開催時期： 2020年10月6日～10月13日とする

共催団体： フィラデルフィア日米協会、CIE-US

オープニング式典&歓迎レセプション：フランクリン・インスティテュート

クロージング式典&フェアウェル・パーティー：

インディペンデンス・シーポート・ミュージアム

宿泊ホテル：マリオット・フィラデルフィア・ダウンタウン(2泊)

ヒルトン・アット・ペンズ・ランディング(1泊)

4. 第31回日米草の根交流サミット2021大会開催準備

2021年度の第31回日米草の根交流サミット大会の開催候補地として熊本県を視野に入れアプローチを進めたが、決定までに至っていない。

5. 情報の発信

- 1) ニュースレター「草の根通信」を年度内に4回制作。
ホームページに掲載するとともに、必要部数を印刷して配付した。
 - 草の根通信 94号(3月)
 - 草の根通信 95号(6月)
 - 草の根通信 96号(9月)
 - 草の根通信 97号(12月)
- 2) 活動報告書(アニュアル・アクティビティ・レポート)の発行、準備
 - ・ 2017年版発行(2018年1月)
 - ・ 2018年版準備
- 3) ホームページ、Facebookを通じた発信
大会告知、ニュースレター、大会報告等を掲載した。
- 4) 大会ビデオ作成及び編集
 - ワシントン州日米協会作成「シアトル大会ビデオ」の字幕挿入編集
 - 兵庫・姫路大会 PRビデオ作成

以上

公益財団法人ジョン万次郎ホイトフィールド記念国際草の根交流センター

平成30年度事業報告書 附属明細書

平成30年1月1日～平成30年12月31日

特になし。

● 参考資料として以下を配付

ー 2018年版活動報告書(アニュアル・アクティビティ・レポート)